

「暮らしのデジタル化」で毎日をもっと便利に、快適に。

税金・公共料金の支払いは 6つの電子決済でスマートに！

「気づいたら支払期限ギリギリだった!」、「忙しくて支払いに行く時間が取れない」、そんな経験はありませんか?『マンガでわかる 暮らしのデジタル化ガイド』は、税金・公共料金の支払いに関する電子決済の種類や手順を、マンガと解説で分かりやすくまとめています。これを読めば、ご自身の生活スタイルに合ったオススメの支払方法がきっと見つかるはずです。各支払方法とそのメリットについて、一部をご紹介します。

●対象となる税金・公共料金(例)

申告所得税、法人税、消費税、住民税、固定資産税、自動車税・軽自動車税、国民健康保険料、国民年金保険料、水道料金、電気料金、NHK放送受信料

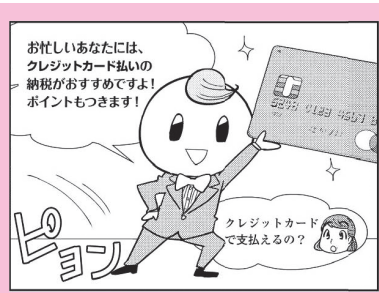
※支払先によって対応する税金種別が異なりますので、各支払先にご確認ください。

※お取り扱いの可否は支払先によって異なります。

その3

クレジットカードなら 支払い時間も短縮!

パソコンやスマホからインターネットを利用したクレジットカード支払い。自宅や外出先から24時間、いつでも簡単に支払えるうえにポイントも付きます。利

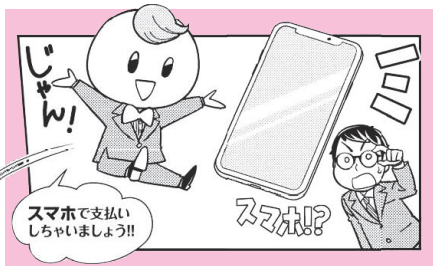


用方法はまず、国税クレジットカードお支払いサイトやお住まいの自治体の納税用WEBサイトにアクセス。納税する税金の種別などの必要事項を選択・入力して、さらに、クレジットカード情報を入力すれば手続き完了です。

その4

いつでもどこでも! 外出先の ピンチもスマホなら大丈夫!

スマホで簡単・手軽に支払いができる時代になりました。バーコードが印刷された納付書なら、バーコードをス



マホのカメラで読み取るだけ! コンビニや銀行窓口に行かなくても、24時間いつでも支払えます。そのほか「PayB」、「モバイルレジ」など自分に合った支払方法が選べるのも魅力ですね。QRコードにスマホをかざすだけで支払える「QRコード決済」の活用も検討されています。

その1

口座振替なら漏れなし、 手間なし、安全確実!

支払期限に預貯金口座から納税資金などが引き落とされるので、自動的な納付が可能に。手数料も無料です。一度の手続きで支払いの手間が省け、支払い漏れも防げます。希望に合わせて期別納付(分納)か全期納付(全納)を選択できるのもうれしいですね(国税は除く)。税務署や自治体などの窓口においてある口座振替依頼書に必要事項を記入し、それぞれの窓口で口座振替の手続きを行います。

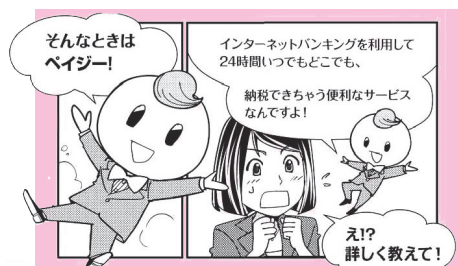


その2

支払いに行けない! そんなとき、 Pay-easyが強い味方!



インターネットバンキングやATMで、税金や公共料金などを支払えるサービス。納付書や



請求書にPay-easyのマークが付いていれば、Pay-easyで支払えます。インターネットバンキングなら24時間365日、スマホやパソコンから対応できるので、休日や深夜でも支払いが可能です。ATMからでも現金を引き出す必要がないので手間いらず。支払い手数料は原則無料です。

マイナンバーカードの申請はお済みですか？

身分証明はもちろん、各種手続きが簡単に！

マイナンバー制度が始まってから3年。2017年には政府運用のオンラインサイト「マイナポータル」が開設され、納税や各種手続きで利便性が向上しています。マイナンバーカードで私たちの暮らしはどのように便利になるのでしょうか？『マンガでわかる 暮らしのデジタル化ガイド』では、マイナンバーカードのメリットについても、マンガと解説で分かりやすくまとめられています。



9つのメリット

- 1 身分証明書として使用できます。
- 2 マイナンバー提示が簡単です。
- 3 印鑑証明などをコンビニで取得できます。
- 4 消費増税対策のポイント還元などに活用予定です。
- 5 行政手続きをオンラインでできます。
- 6 介護や相続などに関わる手続きが簡単になる予定です。
- 7 オンライン取引や口座開設の利便性・安全性が向上します。
- 8 健康保険証や母子手帳などの代わりに活用予定です。
- 9 高度なセキュリティ対策で安心です。

証券口座を開設する場合には、マイナンバーの提供が義務づけられています！

2016年1月より、新たに証券口座を開設されるお客さまは、税法の規定に基づき、お取引される証券会社などへマイナンバーを提供することが義務とされました。

また、マイナンバー制度開始以前（2015年12月以前）から証券口座を開設されているお客さまには猶予期間が設けられており、2022年1月以後最初に上場株式・投資信託などの売却代金や配当金などの支払いを受けるときまでに、マイナンバーを提供することが義務とされました。

お早めにマイナンバーの提供を済ませていただきますようお願い致します。

※マイナンバーの提供義務は銀行で証券口座を開設している場合も同様です。

日本証券業協会 執行役 政策本部共同本部長
島村 昌征

税金・公共料金の支払いはデジタル化がスマート



JBA 一般社団法人 全国銀行協会 | 銀行名〇〇〇

<https://kurashi-digital.mamafre.jp/>

その5

銀行が大混雑！そんなときは

ATMのPay-easyへ

納付書や請求書にPay-easyのマークが付いていれば、銀行の窓口には並ばなくてもPay-easyのマークが付いているATMで支払えます（キャッシュカードまたは現金）。簡単な操作でスピーディに納付が完了し、手数料も原則無料です。一部地域・金融機関で導入されている新型ATMなら、収納機関番号などの入力が必要なく、Pay-easyマークがない納付書などにも対応していて、さらに時短&便利！



その6

慌てないで！

コンビニエンスストアで支払い完了

バーコードが印字された納付書で、支払い期限内（指定期限内）であれば、全国の主要なコンビニで支払いができます。納付書をコンビニのレジに持っていき、

料金を支払えば完了（国税はQRコードを利用したコンビニ支払いが可能）。コンビニが営業していれば、深夜でも買い物ついでに料金を支払えるのでとても便利です。納付書に記載されている期限までに支払いましょう。

